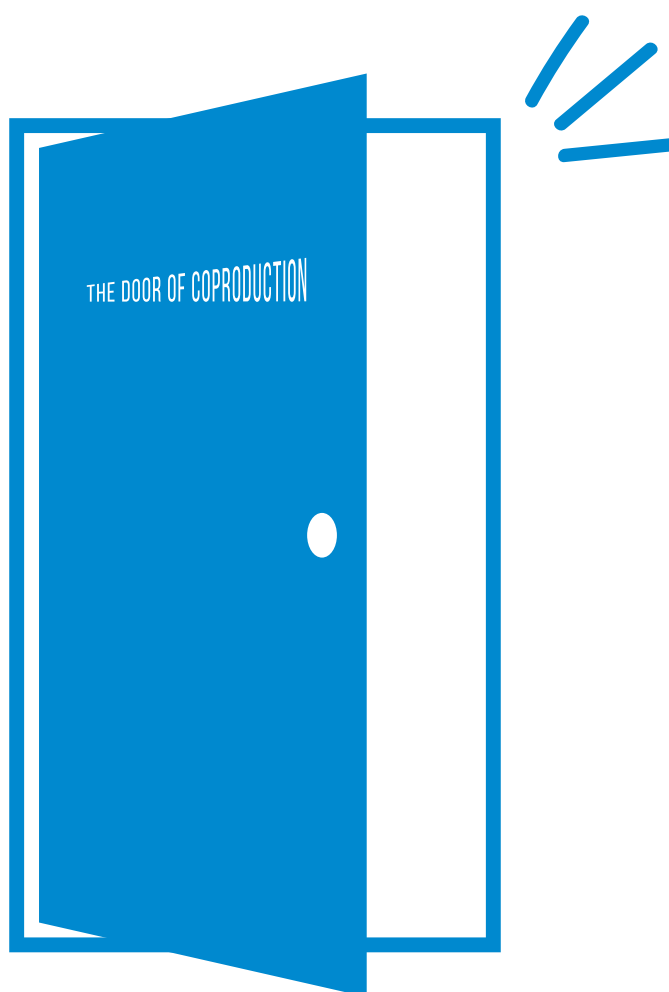


共働のトビラ

～地域とNPOでひらいてみる、新しい可能性～



- NPOとの共働、ちょっとその前に ●
- 地域とNPOの共働事例 ●
- 共働メニューリスト ●

はじめに

福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」*では、課題を抱えた「地域」と、専門性を持つ「NPO」が、手を取り合うきっかけとして、自治会活動など地域をより良くしたいと活動しているみなさんに本冊子「共働のトビラ」を作成しました。

地域課題の解決に向けて地域とNPOが手を取り合って取り組む共働事例の紹介、そして地域で使えるNPOが持っている講座やワークショップなどのメニューを紹介しています。

この冊子をきっかけに地域課題の解決に向けた「共働のトビラ」が開かれ、多くの地域でみんなが参加でき、安心して暮らしていける、そんなまちづくりにご活用ください。

*福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」は、市民主体のまちづくりの実現のため、NPO・ボランティア活動をはじめとする様々な市民活動の情報交流の拠点として設置された施設です。「あすみん」では、地域とNPOなど多様な主体が共働するための相談・コーディネートをおこなっています。お気軽にご利用ください。

NPOとの共働、ちょっとその前に → P2~6

NPOとの共働を始める前にお読みください。「NPOとはどのような組織?」「共働するメリットやポイントって何?」など、よくある疑問について説明しています。

1. 「NPOとの共働」という選択肢
2. 共働するとどんないいことがあるの?
3. NPOへのよくある質問
4. 課題解決に向けた共働のコツ

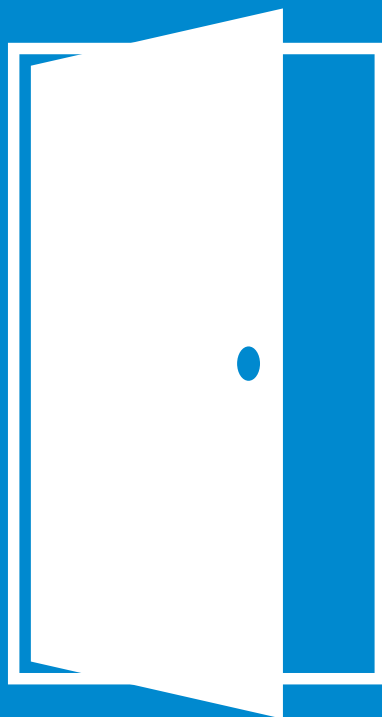
地域とNPOの共働事例 → P7~14

地域とNPOが手を組み、地域課題の解決に取り組んでいる事例を紹介しています。共働がはじまった「きっかけ」から生まれた「成果」「取り組みが上手くいったポイント」を書いていますので、地域活動の参考にしてください。

共働メニューリスト → P15~21

NPOが行う講座やワークショップ、イベントなどのメニューを紹介しています。掲載しているメニューは、NPOが地域の方を対象に実施した実績のあるものや、これから地域で実施してみたいと提案しているものです。まずは、興味のあるメニューを公民館の講座や地域の行事に活用してみませんか。NPOは本冊子のメニュー以外にもたくさんの活動実績やノウハウを持っています。

NPOとの共働、 ちょっとその前に



1. 「NPOとの共働」という選択肢 ————— P02
2. 共働するとどんないいことがあるの？ ————— P03
3. NPOへのよくある質問 ————— P04
4. 課題解決に向けた共働のコツ ————— P06

1. 「NPOとの共働」という選択肢

みなさんの地域にある、自治協議会や自治会・町内会などの自治組織。これらの組織は、その地域に住む人たちが安心して健やかに暮らしていけるまちづくりをすすめています。例えば「高齢者」「子ども」「防犯」「防災」「環境整備」など地域が持つ課題に取り組むとともに「夏祭り」「運動会」などさまざまなレクリエーションを通じて住民が相互につながる意識の向上を図っており、このような地域活動が、地域のみんなの「より良い暮らし」を支えています。

近年では、児童虐待や孤立死の深刻度を増す地域課題や災害時の要援護者への対応などの広範囲にわたる地域課題が問題になっています。

また、福岡市は単身世帯や共同住宅の多さなど、地域のつながりが希薄化しやすい都市の特性があります。その状況に加えて、地域では担い手不足、役員の高齢化といった地域活動に関わる問題が押し寄せ、自治組織だけで地域課題を把握し、解決することが難しい状況となっています。

一方、NPOは社会や地域の課題解決のために自主的に活動している市民公益活動団体であり、活動趣旨に賛同した有志が集まっている存在です。特定の分野において専門性があり、柔軟・迅速なネットワークを活かした活動を行っています。

地域に根ざして、さまざまな活動をしている自治組織とは異なっていますが、どちらも活動の目標は「より良い地域づくり」です。

「より良い地域づくり」という同じ目標を持った自治組織とNPOが、地域の抱える課題を共有しながら解決に向けて共に行動する「NPOとの共働」は、お互いの違いを認め合い、対話を重ねていくことで、大きな成果が期待できます。

共働は、それ自体が「目的」ではなく、地域課題をより良く解決するための「手段」です。自治組織とNPOの両方で地域課題をもう一度見直し、より多くの住民と共に自分たちの地域課題として受け止めること。それが課題解決の第一歩となります。

【NPO】とは…

ボランティア団体や市民活動団体など自主的・自発的に社会貢献活動を行う「民間非営利組織」を広く指します。

【NPO法人】とは…

NPOのうち、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人を「特定非営利活動法人（一般的にはNPO法人）」と呼んでいます。

2. 共働するとどんないいことがあるの？

NPOと共働することで、地域にとっては次のようなメリットがあります。

1 NPOの専門性を活用できます

NPOは、福祉や環境、子育てなど、それぞれ得意な専門分野をもっています。これまで長年続けてきた「経験」や習得した「資格」を備えた人材が揃っています。そのようなNPOと一緒にあって地域について考えることは、いま抱えている課題の原因をより深く理解でき、これまで気づかなかった視点を持つことができます。

2 地域活動における新しい人材を発掘できます

「地域活動の参加者が固定されている」「人材はいるのに活動へ参加してもらえない」などの悩みがある地域は少なくありません。

NPOが関わることで、地域活動に新たな趣向や雰囲気を持ち込むことができ、これまでとは違った層の住民が地域活動に関心を持つきっかけとなります。

3 今までより幅広い情報発信ができます

忘れがちな情報発信。NPOの中には情報発信が得意な団体もあります。ホームページやfacebookなどの情報媒体を活用して、一緒に取り組んでいる活動を報告したり、イベントを紹介したり、地域外にも広く発信することができます。

また、「地域とNPOの共働」のモデル事例としてメディアに取上げられ、広がる可能性も持っています。

知ってもらうことによって、今まで出会えなかった仲間との出会いが生まれます。

4 地域活動の参加が広がります

NPOとの共働は、従来の地域の参加者以外にもNPOが持っているネットワークによって、地域外の人に関わる機会も増えてきます。地域外の方の参加は、地域のメリットに見えませんが、今までにない集客など、イベントや活動の様子が変わり、地域ににぎわいを生み出し、地域内の新たな担い手に向けてのPRに繋がっていきます。

また、たとえば、地域のイベントに来た参加者が、NPOの活動に興味を持ち、NPOに新たな仲間が生まれる、NPO側にとっても大きなメリットが生まれます。

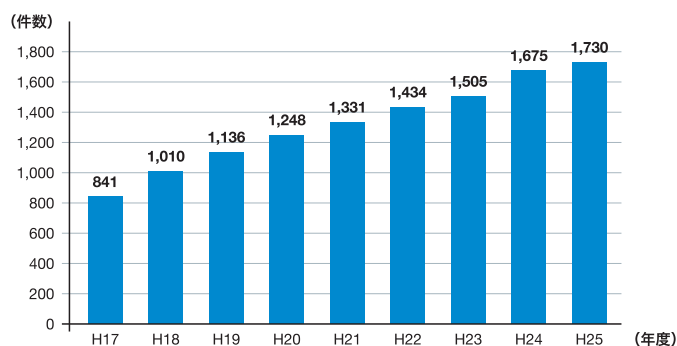
3. NPOへのよくある質問

Q1.
NPOとボランティアって
どう違うんですか？

A NPO = 「組織の活動」、ボランティア = 「個人の活動」
がひとつの基準です。

NPOとボランティアは、自主的・自発的に社会貢献活動を行うという点では同じですが、ボランティアは各自が責任をもって活動するというのが原則で、NPOは個人の責任だけでなく組織として規約や運営ルールのもとで継続的に活動する、という違いがあります。

また、NPOはボランティア活動の受け皿となる「参加を求める側」で、ボランティアはNPO活動に「参加する側」という関係でも違いがあります。このようなボランティアの受け皿となるNPO法人は増加傾向にあり、コンビニの数と匹敵する程とも言われ、これからの時代ますます市民にとって身近で重要な存在になっています。



▲福岡県内所管のNPO法人の認証件数

Q2.
NPOってお金なしで
活動しているの？

A NPOの活動にはお金が必要です。

NPOとは、「Non-Profit Organization」の略で「民間非営利組織」です。「非営利」という言葉から、無償で活動すると解釈されがちですが、「利益を上げてはいけない」、「報酬を支払ってはいけない」ということではありません。NPOが継続的に活動していくためには、提供するサービスに見合った対価を得て利益を上げる必要があります。その結果、発生した利益は、スタッフや会員など関係者に分配せず、社会的使命の実現のために次の活動に費やしています。また、NPOの活動に必要な資金は、色々な方法で集められていることが特徴です。そしてその割合も、NPOによってさまざまです。

収益の種類	内容
事業収益	商品やサービスの対価として受け取るお金
寄付金	活動目的に賛同されて受け取るお金
会費	会員から定期的に受け取るお金
助成金	事業などへ助成される資金
補助金	税金を原資として事業などへ助成される資金
その他	受取利息や雑収益など

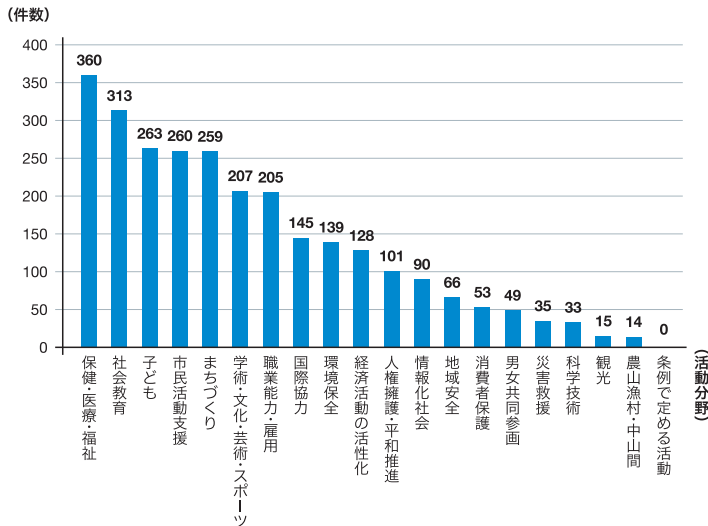
Q3.
NPOの活動には
どんなものがあるの？

A 幅広く20の分野に分かれます。

NPOの活動は、例えば「地域の高齢者のために食事をつくって届ける」「里山を守り育てその活用を図る」「町並みを保存する」「地雷除去・撤廃に取り組む」「子どもの虐待を防ぐ」など、いろいろな活動が

あります。また、活動の範囲は、特定の地域に限定したものから、全国、海外に及ぶものまであります。NPO活動は現在20分野に分類されていますが、複数の分野にまたがる団体など、実態としては表現しきれない多様な活動もあります。福岡市では「保健・医療・福祉」の分野が最も多く、次いで「社会教育」「子ども」「市民活動支援」という順になっています。

◀福岡市所管のNPO法人の活動分野別認証件数(H27.1現在)



Q4.
NPOの情報って、
どうやって集めたらいいの？

A さまざまな手段があります。

NPOのホームページやフェイスブック(Facebook)、これまでのTVなどのメディアへの取り上げ実績、公的機関からの表彰実績なども1つの参考になります。そのほか、以下のような情報収集手段もあります。

①あすみんを利用する

あすみんには674(H27.1月末現在)ものNPO・ボランティア団体の情報が登録され、ホームページ上でも公開しています。登録団体からのお知らせやボランティア募集案内、イベント案内などの最新情報をお届けしています。そのほかにも、各種講座や市民公益活動に関する相談も行っています。

[HP]<http://www.fnvc.jp>

[facebook]<https://www.facebook.com/asunoshimin>

②福岡市ホームページで検索する

福岡市が所管するNPO法人に関する情報(定款、活動内容、役員名簿など)が掲載されています。検索方法は、団体名のほか、活動分野やキーワードでも検索することができます。また、県内のNPO法人については、福岡県NPO・ボランティアセンターホームページをご参照ください。

◆福岡市のNPO法人検索

福岡市HPの『サイト内検索』に「NPO法人検索」と入力

[HP]<http://www.city.fukuoka.lg.jp>

◆福岡県のNPO法人検索

福岡県NPO・ボランティアセンターHP『かんたん団体検索』

[HP]<http://www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp/>

4. 課題解決に向けた共働のコツ

地域とNPO。より良い地域づくりのために活動していることは同じですが、組織の成り立ちや構成は異なることから、一緒に取り組むのは少し難しいこともあります。

でも大丈夫！地域課題の解決に取り組む5つのコツを用意しました。共働を始める前に、これらのコツをお互いに理解しておきましょう。

1 お互いのことをよく知り、尊重し合しましょう。

地域とNPOは、お互い性質の違う組織です。お互いの活動内容だけでなく、立場、得意なこと・不得意なことを十分に意見交換し、その違いを理解し尊重しましょう。また、価値観等の押しつけ合いにならないように配慮しましょう。

※時間の感覚が違うことも、「目標までのスケジュール」をきちんと確認しましょう！

2 課題・目的・目標を共有しましょう。

何を解決するために共働するのかという「目的」を共有し、解決すべき「課題」についてお互いに十分に話し合っ、思い描く姿(目標)について共通の認識を持ちましょう。異なる組織同士が同じ方向を向き、共通の目標を作ることは、簡単に短時間でできるものではありません。時間をかけて練り合わせていきましょう。

※いつも一緒にいないからこそ、同じ認識を持つことが大切です！

3 お互いの役割分担を明確にしましょう。

地域とNPOが、それぞれの得意なことを発揮できるよう、苦手なことを補ってあげるよう、「地域がやること」「NPOがやること」を明確にして進めていきましょう。また、地域によって、NPOによって“できること”“得意なこと”は違います。

※「費用分担」もきちんと確認・話し合しましょう！

4 対等な関係のもとで共働を進めましょう。

どちらか一方に依存してしまわないよう、対等な立場で対話を重ね、お互いが自立した関係で各自の役割を果たしましょう。そうすることで信頼関係が築かれ、安定的な関係を継続していくことができます。

※お互いを信頼して任せることで、コストも削減できます！

5 事業が終わったら一緒に振り返り、次のステップにつなげましょう。

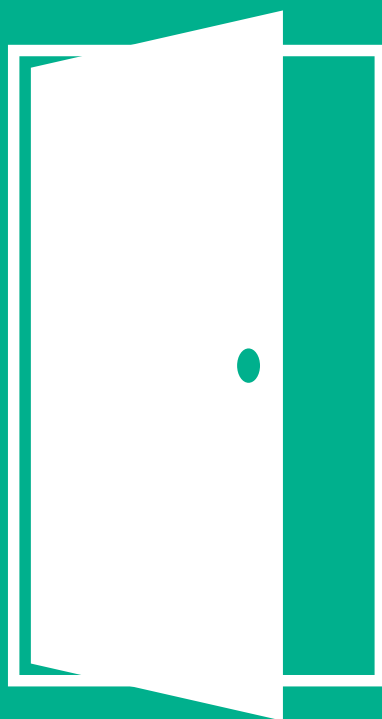
異なる組織同士が対等な関係のもとで取り組むのですから、振り返りを行うことは特に重要です。また、地域とNPOの視点の違いから、双方で振り返りの結果が異なることがあります。そうした相違点を確認し、お互いの認識を共有することで、新たな課題や改善策がみえてきます。

※振り返りから新たなヒントが生まれることも多いのです！

5つのコツすべてに共通して言えるのは、

なにより、「対話」することが大切なのです。

地域とNPOの 共働事例



子ども 子どもの居場所づくり ————— P08

環境 ひょうたん池まつり ————— P10

地域づくり ふら〜っとカフェ壱岐南 ————— P12

子ども

子どもの居場所づくり

板付北公民館×NPO法人子どもNPOセンター福岡

地域の課題 ↓ 地域における子どもの居場所が不足している…

共働の実践 ↑ 魅力ある子ども達の居場所を継続的に提供できるようになった！

子どもの居場所づくりに取り組みたい

この共働は、板付北公民館が、これまで子ども事業で付き合いのあったNPO法人子どもNPOセンター福岡から話をもらったことがきっかけで始まりました。

平成16年当時、板付北公民館は、公民館建て替えを期に、設計段階から子どもたちの気配を感じる空間など、子どもの居場所となる公民館を目指していました。

一方、NPO法人子どもNPOセンター福岡は、文部科学省の「子どもの居場所づくり新プラン」により、「地域子ども教室」事業の委託をうけ、事業を実施できる地域を探しており、この両者の思いが一致しました。

年間を通じて、
開かれた「子どもの居場所」になった公民館

「子どもの居場所づくり」は、板付北公民館を拠点として、地域の方々の協力や小学校との連携を保ちながら進めていきました。

公民館は、NPOから「居場所」の考え方や「居場所づくり」のために必要な道具、居場所の運営方法などを学び、絵本の読み聞かせ、紙芝居、囲碁や将棋、卓球、工作、お手玉などの昔遊び、歌、演奏、自然環境の保全活動などの基本プログラムをつくりました。



そして、このプログラムをもとに、公民館が地域の地理的・歴史的背景や地域特性を活かした企画をNPOと一緒に実施・改善しながら、「リヤカーで行こう！太宰府キャンプ」「板付遺跡ホテル飛翔プロジェクト」「ハンドベル演奏」などの子どもたちにとって魅力あるメニューをつくり上げました。

特に「板付遺跡ホテル飛翔プロジェクト」では、遺跡を知ってもらうとともに、環境保全の意識啓発を行うことができています。参加者は、子どもだけではなく、昔を懐かしむ高齢者など幅広い世代が集まっています。また運営スタッフも、青少年育成連合会や地域の多くの方々に関わってもらっています。

このように取り組んだ結果、これまで土曜日だけだった子ども事業が、平日も実施されることとなり、板付北公民館は、年間を通じて地域に開かれた子どもの居場所となりました。

NPOが仲介役となったネットワークによる
情報交換の仕組みができた

①他公民館とつながる仕組みができた

NPOが中心となり福岡市内3つの公民館(名島、東箱崎、小田部)などとのネットワークができ、他公民館との情報交換を通じて「こんなこともできる」など、事業のアイデアを広げることができています。

②NPOは、地域とつながる窓口ができた

NPOは、地域の実態調査など別の事業で地域に入る際、板付北公民館を通じて、スムーズに小学校や地域に入ることができる地域の窓口を持つことができました。

共働のポイント

①目標を共有して、一丸となって進めた

「子どもの居場所づくり」という目標の中で、NPOはプ



(上) 忍者修行の体験イベント。
(右) 子どもの居場所づくり、週末の事業として、工作の体験などを開催している。



プログラムの企画などのさまざまなノウハウを提供し、公民館は地域特性を活かした独自のプログラムにしていきました。

さらに目標の実現に向け、公民館職員をはじめとする地域の皆さんが主体的に取り組んだことで、自らのノウハウとして習得し、文部科学省の受託事業が終了した後も、公民館事業として自立、継続することができています。

②NPOの視点から地域の文化を知ることにつながった

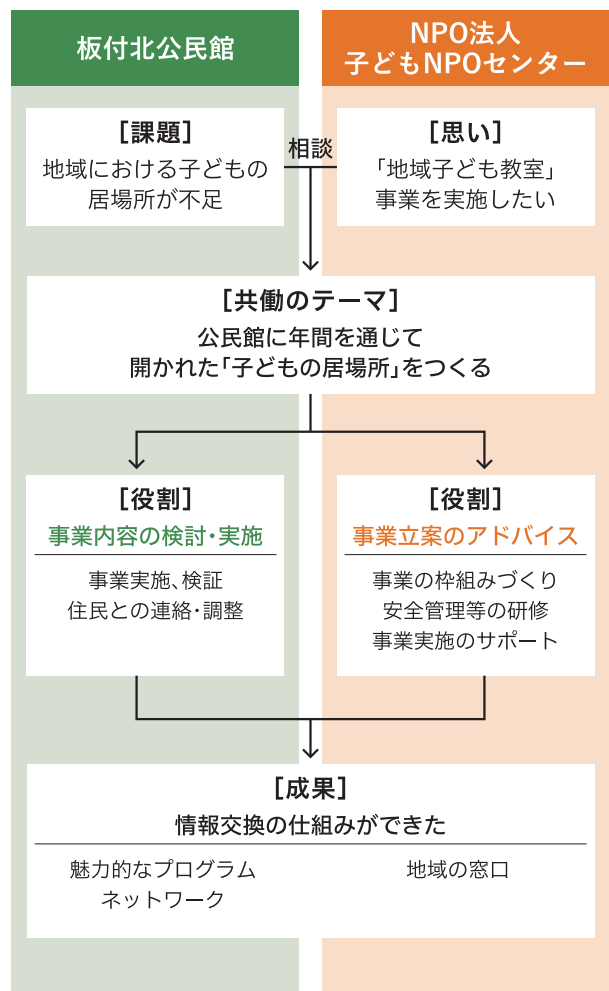
板付北校区の子どもたちにとって魅力のあるプログラムとするために、NPOの視点から地域を調査し、今まで認識できていなかった地域資源を再確認できました。これは、今後の地域活動を考える際にも、大きな収穫だと言えます。

③お互いの役割分担を明確にして進めた

NPOは事務局として事業全体のコーディネートやプランづくりなどの役割を担いました。

公民館は、地域の窓口としての役割を担い、地域住民の参加を得ながら、事業のプログラムの検討・実施を行いました。

費用分担に関しては、NPOの受託事業の中で実施でき、ハンドベルやバドミントン、卓球などの道具を揃えることもでき、現在もその道具を利用しています。



団体紹介

✦ NPO法人子どもNPOセンター福岡

子どもに関する市民のネットワークとNPOの基盤づくりを進め、子どもと大人がともに育つ地域づくりを図ることにより、子どものいのちと心が尊重され、豊かな発達が保障される社会の実現を目指しています。

住所 福岡市中央区赤坂1-2-7 みずほビル506
連絡先 tel. 092-716-5095 fax. 092-716-5095
E-mail. kodomo-npo.cf@rose.ocn.ne.jp
HP. <http://kodomonpo.main.jp/>

地域づくり

ひょうたん池まつり (西区元岡校区 泉東地区)

ひょうたん池花クラブ×ベスタ

地域の課題 ↓ ひょうたん池の認知度が低く、愛着が持たれず、地域資源が活かされていない…

共働の実践 ↑ 世代を越えて楽しめるイベントの開催により、認知度、愛着度が向上しました！

地域にできた、憩いの空間

この共働は、町内住民の有志によって組織された「ひょうたん池花壇愛護同好会(愛称:ひょうたん池花クラブ)」が、西区役所地域支援課に相談したことからはじまります。ひょうたん池は、平成16年に、福岡市が「親水性のある水辺空間」として整備しました。地域住民がワークショップに参加するなど、その意向が取り入れながら整備計画は進められ、池に造成する花壇を継続的に維持管理するために「ひょうたん池花クラブ」が町内住民の有志で結成されました。

ひょうたん池花クラブは活動を続けていく中で、「ひょうたん池は、地域住民の交流空間としてせっかく整備されたのに、町内の人たちにあまり知られてない。もっと気軽に花壇でも見ながら散策してもらえないだろうか?」と思い、西区役所地域支援課に相談し、環境啓発を得意とするNPO団体の「ベスタ」と出会いました。

2つの団体がはじめた小さな祭り

ひょうたん池を地域の憩いの場・交流の場として活用してもらうため、「お祭り」という誰もが参加しやすいイベントを企画しました。

この「祭り」は、自分達が楽しみながらひょうたん池の魅力を発信することで、「私も次回の祭りの運営に関わりたい」と活動に興味を持つ人が集まる場となりました。最初のイベントでは、約300人の地域の人が集まりました。回を重ねるごとに、400人、500人と増えていき、老若男女が集うお祭りのような行事がなかったこの地域で、今では町内唯一の祭りに定着しています。

楽しいことの積み重ねが、人を集め人をつなぐ大きな祭りへ

①祭りが地域の人材を発掘

祭りを継続することで信頼も高まり、地域全体に受け入れられるようになってきました。協力体制が生まれ、地域全体を巻き込みながら進めるこの祭りは、「気楽に参加できる仲間」を地域で増やしています。ご近所さんが担い手として活動する姿は、受け身だった住民の意識を変え、今度は自分も参加してみようという意思を生み出します。参加した喜びは、ひょうたん池への愛着となり、日常の池の管理活動や花の育成活動、身近な住人の関わりにもつながり、忘れがちな地域資源に対する発見と興味をつくり出しているのです。

②多様な世代の人達が、ひょうたん池で憩うようになった

ひょうたん池花クラブとベスタとの共働は、9年間続いています。現在、新たな試みとして、ひょうたん池の自然を利用して、高齢者の方に遊びに来てもらう、見守りを兼ねた仕組みづくりを始めています。月一回(第3金曜日の午前中)、お茶菓子を用意したり、体操やクイズなどのレクリエーションを行っています。住民が参加しやすい仕組みは、息の長い活動へとつないでいます。

共働のポイント

①新しい発想を取り入れた

「花壇管理をしよう」という直接的な呼びかけではなく、「祭り」という発想転換をすることで、興味を示さなかった地域住民の層にも興味を持ってもらえる仕組みとなっています。

②話し合いを重ね、目的・目標を共有することで、信頼感で支えられたチームになりました

NPOは、環境啓発に関するイベントなどを企画・運営



(上)賑わいづくりのさまざまな工夫が。
(右)祭りの日のひょうたん池、訪れた地元の人で賑わう姿が見える。



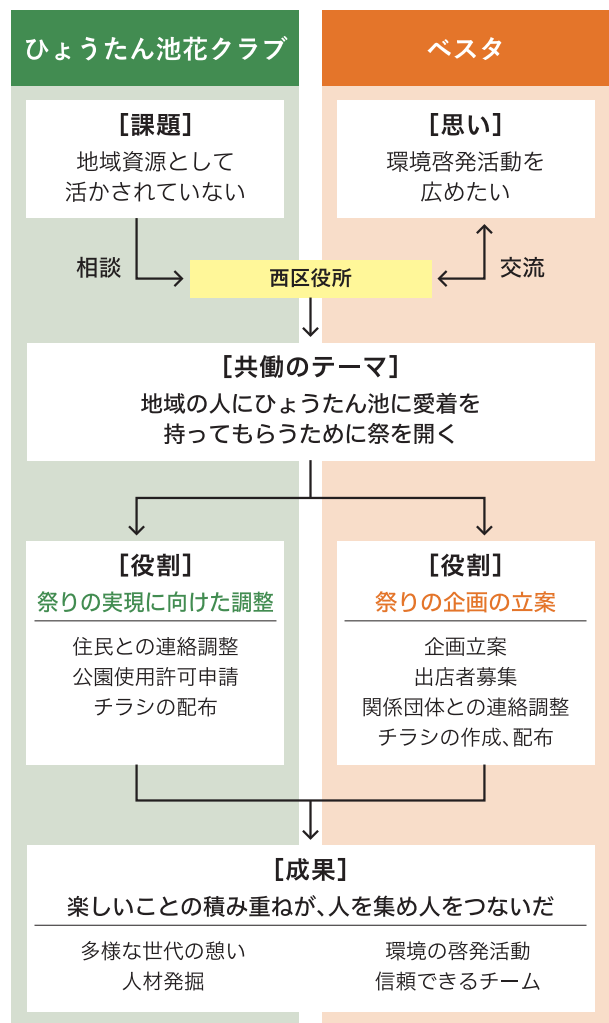
するノウハウを持っています。ひょうたん池花クラブは、ひょうたん池の環境美化活動を続けてきた地域の信頼がある団体です。そうした2つの団体の強みを活かすことができるよう、多くの対話を重ねてきました。そして、対等な立場でそれぞれの役割を果たすことで信頼関係も芽生え、課題解決に向け前向きに考えていくことができるチームができました。

特に実施後の振り返りに力を入れ、お互いの認識のズレを確認、修正することを丁寧に行っています。課題を次のステップに活かすことが、事業の発展性と持続性につながっています。

③新たな力の発掘

「楽しそうだからやってみたい」という人をオープンに受け入れる仕組みをもち、新たな担い手のアイデアを取り入れることで、マンネリになりがちなイベントを変化させ、魅力の維持をしています。どんどん新しい人を発掘して、時代にあったものにする事で、多くの集客を得ています。

また、イベント当日だけの活動ではなく、ひょうたん池花クラブが地道な花壇維持活動を日々続けていることが実を結ぶ機会となっていることも大事なポイントです。



団体紹介

✦ ベスタ

主婦でもできる、主婦だからできる3R活をモットーに、地元西区泉で主婦友10人によるグループ結成。ひょうたん池まつり開催のほか、いとエコプロジェクト参加、かえっこバザール、西区環境フェスタ実行委員など多彩な活動を展開。「福岡市環境行動賞優秀賞」受賞。東日本大震災復興支援活動にも参加。

住所 福岡市西区泉3-14-8
連絡先 tel. 090-8765-5566 fax. 092-806-6735
 E-mail. ume04050418@yahoo.co.jp
 代表: 松竹恵里子

福祉

ふら～っとカフェ壱岐南

壱岐南校区×ふら～っとカフェ実行委員会

地域の課題 ↓ 一人暮らし高齢者の孤立化・孤独死の増加…

共働の実践 ↑ 高齢者が外出するきっかけと地域住民が気軽に集まる“仕組み”と“場”ができた！

一人暮らしの高齢者、引きこもりがちな高齢者とのふれあいの絆をつくりたい

この共働のはじまりは、「あすみん」の超高齢化社会をテーマとした交流会でした。交流会で壱岐南公民館から「地域との接点をもっていない高齢者は、実態がつかめない。」「団塊の世代が地域に出て来ない。」などの話があり、参加していたNPOや社会福祉協議会が、課題解決に向けて手を挙げました。そこから、地域の介護事業所などが加わり「壱岐南校区での高齢者の孤立化防止」をテーマとした勉強会がスタートしました。

誰もが集まりやすいように、「ふら～っと」立ち寄れる場をつくる

この勉強会で注目したのは「高齢者との接点不足」でした。高齢者のみなさんに外出する目的をもっとつくりだすこと、高齢者だけではなく地域の誰もが気軽に集まって課題共有できる機会をつくりだすことを目指しました。議論の結果、ふら～っと立ち寄って、地域の誰もが、お客さん側でもお手伝い側でも入れ替わり自由に参加できる、双方向の参加型カフェを企画しました。

カフェの運営全般は、勉強会メンバーに加えて、普段からボランティア活動をしている地域の方々も入った



「ふら～っとカフェ実行委員会」を中心に進めました。NPOや介護事業所は、専門性やネットワークを活かしてハンドマッサージや健康チェック・アドバイス、野菜の産直市、無料カフェなどのメニューづくりを担当し、地域は住民への広報やカフェの人材の確保を担当しました。また、介護事業所は、送迎バスを運行し、移動が難しい高齢者も参加しやすくなりました。

普段は公民館を利用していない「30年ぶり」の人や「初めて来た」という人が集まった

①高齢者だけでなく、地域の多くの人が集まった

このカフェでは、高齢者向けの複数のメニューと介護事業所の送迎などのサポートを提供することで、広く関心を引くことができ、より参加しやすくなりました。また、参加者は、お客さん側でもお手伝い側でも入れ替わり自由であったことから、高齢者だけでなく、「高齢者と関わりたい」、「何かやってみたい」と考えていた層の住民も入りやすい雰囲気となりました。その結果、約250人もの参加を得ることができました。

②地域の人材を発掘するきっかけができた

このカフェは、NPOや介護事業所などの専門スタッフだけでなく、地域のみなさんもサービス提供者になることができることから、地域のみなさんの「私ができること」を発揮する場にもなり、地域の人材を発掘するきっかけになりました。

③住民が集まる仕組みが生まれた

カフェという「ふら～っと立ち寄れる場」と、実行委員会という「やりたいと思った人がいつでも参加できる組織」ができました。この組み合わせは、「課題を共有する機会」と「課題を解決するための企画を実行する場」を生み出し、今後の展開にも期待できるものとなりました。



(上)一手間かけたおいしいコーヒーを。
(右)NPOによる終活講座も大変好評でした。



共働のポイント

①実行委員それぞれの専門を活かした企画の提供

どんなに思いが強くて、ニーズにあった企画でなければ、多くの人に参加してもらうことはできません。

この共働では、高齢者が魅力を感じる多彩なメニューと高齢者以外の住民が気軽に参加できる仕組みを提供できるNPOや介護事業者の専門性が効果的に機能しました。

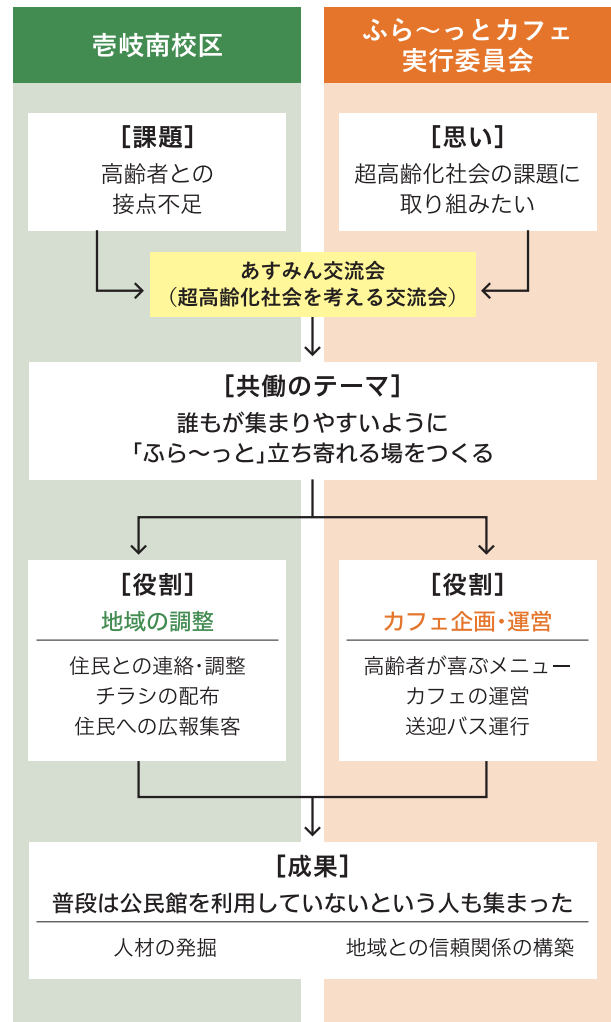
②実行委員会メンバー同士の時間をかけた対話

カフェの実施に至るまで、何度も課題・目的・目標の確認・共有をしてきたことから、全員で同じ目標に向かってふれずに進めることができました。

また、丁寧な育てた信頼関係で、対等な立場で役割分担することができました。

③企画に賛同する人々が集まり、それぞれの強みが活かせる仕組みづくり

NPOをはじめ、企画に賛同する誰もがいつでも参加できる実行委員会を設けました。実行委員会は、NPO、介護事業所、地域住民で構成されており、高齢社会の課題解決を進めるノウハウ、高齢者が参加しやすいメニューや環境づくり、チラシ作成などの作業や地域への周知など、それぞれの強みを活かせる仕組みをつくりました。

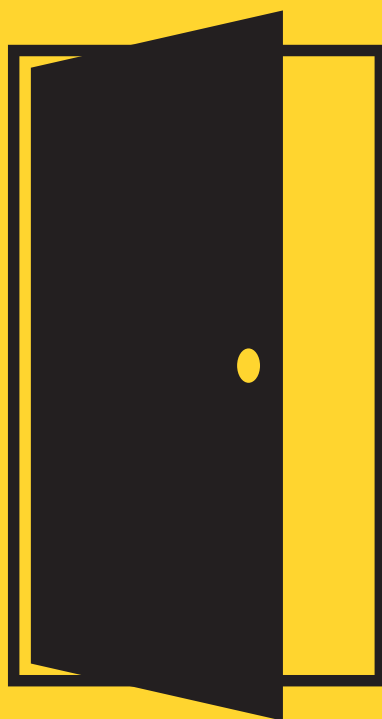


団体紹介

✦ ふら〜っとカフェ実行委員会 構成団体

NPO法人わが家の119番/NPO法人高齢者・障がい者安心サポートネット/NPO法人cocofull/相続マイズ福岡/介護老人保健施設サンライズ寺崎/あおぞらの里福岡西ヶアプランセンター/特別養護老人ホームマナハウス/西区社会福祉協議会

共働 メニューリスト



【NPO活動分野別】

環境／福祉／防災／子ども／地域づくり

※掲載メニューは概要です。詳しくは各団体までお問い合わせください。

資源循環講座 (①ダンボールコンポスト講座 ②落ち葉堆肥づくり講座 ③グリーンカーテン講座 ④循環堆肥でベランダ菜園講座)

ねらい 地域の資源(生ごみ・落ち葉・雑草)で堆肥をつくり、
楽しく野菜やお花を育て、循環の実践を目指す。

ベランダで簡単にできるダンボールコンポストの作り方から、落ち葉、雑草、剪定葉の堆肥化の講座。実際にできあがった堆肥の活用講座では、緑のカーテンやベランダ菜園、1坪農園など、ご要望に応じた講座を開催します。ごみ減量から、安全で美味しい野菜づくりをはじめてみませんか？



団体紹介

★ NPO法人循環生活研究所

設立年	2000年設立、2004年法人格取得
住所	福岡市東区三苦4-4-27
連絡先	tel. 092-405-5217 E-mail. nagata@jun-namaken.com URL. http://www.jun-namaken.com 連絡担当者: 永田

メニュー概要

対象	子ども(幼稚園・小中学校)～高齢者
人数	何名でも可能
時間	1.5～2時間程度
準備	プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード
費用	材料費実費、講師料10,000円。
実績	赤坂公民館、草ヶ江公民館、三筑公民館など、年間300～400講座開催。

身近な環境改善事業 (ワークショップから実践活動まで)

ねらい 身近な住環境に潜む様々な課題を顕在化させ、
課題解決に向けての目的意識を醸成する。

地域にひそむ課題をいっしょに浮き彫りにし、それらのさまざまな課題を難易度ごとにまとめてみます。課題解決に向けて長期および短期の計画を立てて、できるところから実行してみましょう。

このワークショップでは、実際に自分たちが住んでいるエリアの課題を見つけてるところから、その解決方法を考え、

実行に移してみるまでのサポートを行います。



団体紹介

★ 特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡

設立年	2002年
住所	福岡市博多区美野島2-16-8 日大ビル1階
連絡先	tel. 092-414-1234 E-mail. gw-fuku@d3.dion.ne.jp URL. http://www.h3.dion.ne.jp/~gw-fuku/ 連絡担当者: 堂園

メニュー概要

対象	児童～高齢者
人数	20～30名
時間	4時間×4回
準備	特になし
費用	交通費程度
実績	県立福岡視覚特別支援学校でのハーブガーデンづくり、南区東花畑小学校区での新池クリスマイルミネーション、芋焼酎プロジェクト(八女市上陽町)

かえっこバザール

ねらい 子どもたちが遊びの中で自主的に3Rの大切さを学び、イベントスタッフとして大人も巻き込めることで地域に新しい活動が芽生える。

みんなで「かえるポイント」を使っておもちゃの交換をする子ども向けのリユースイベント。「かえるポイント」は次の方法で集められます。①家庭から不要になったおもちゃを持ってくる。②子ども向けワークショップに参加する。(環境クイズ・ものづくり・ゲームなど)③子どもスタッフとして

会場内のお手伝いをする。また、会場によってはオークションもします。



団体紹介

★ バスタ(環境たくみの会所属)

設立年	2005年
住所	福岡市西区泉3-14-8
連絡先	tel. 090-8765-5566 E-mail. ume04050418@yahoo.co.jp 連絡担当者: 松竹

メニュー概要

対象	子ども(幼児～小学生)
人数	30～400名
時間	3～5時間
準備	イベント規模に応じた地域のボランティアスタッフ
費用	10,000円+交通費・当団体スタッフ4～6名/1回
実績	公民館(堤、鳥飼、花畑、今宿、元岡、前原中央等)にて実施。福岡市西部3Rステーション、福岡市西区環境フェスタ、西都・ももち浜・西新地域イベントなど。

デ・キ・ル

ねらい

「できない」を体験する事により当たり前前の生活に感謝し障がいとは何か感じてもらうキッカケ作りをします。

誰にでも起こりうる障がいを疑似体験ゲームに！

「できない」を体験して当たり前前の生活を見直します。障がいとは何か感じてもらうだけではなく、関わり方・感じ方を問題提起することにより自分の事として受け取れるようなプログラム作りをしました。自分ならどう

する？…それぞれの感じ方や感想をフィードバックします。



団体紹介

★ NPO法人ハッピーライド

設立年	2012年
住所	福岡市博多区博多駅前4-33-11
連絡先	tel. 092-201-8435 連絡担当者:常田 E-mail. happyride38@gmail.com URL. http://happyride.main.jp/

メニュー概要

対象	子ども～高齢者(基本は平日開催) ※日程・時間など、ご相談ください
人数	10～15名程度
時間	1時間(準備・ワークショップ・フィードバック込み)
準備	暗幕がある部屋など、暗くなる環境
費用	1回10,000円(別途1人50円程いただく場合あり)
実績	学校、公民館、施設などで視覚障がい者疑似体験「ブラインドタッチ」を定期的に開催。弥生公民館や福岡市内の学校などで「ハッピーライド海賊団の宝探し(福祉体験バージョン)」を開催。

ココフル体操(～ココロとカラダを健康に～)

ねらい

運動を通してココロとカラダを健全にすること、また地域のコミュニティづくりに貢献します。

ボールを使って、イスに座ったままで行う運動をメインとし、上半身や下半身のストレッチ、弱くなりやすい部位の筋力アップ運動を行います。また転倒予防にもなる下肢のトレーニングも取り入れ、体力に合わせてウォーキングも行います。参加者同士のコミュニケーションがとれるプログラム

も多く、ボールを使ったゲームも行うことで、飽きずに楽しく、カラダを動かすことができます。地域の集いの場となり、引きこもりの予防にもなります。



団体紹介

★ NPO法人cocofull

設立年	2014年
住所	福岡市南区清水1-24-31 浪花モンテビアンカ3F
連絡先	tel. 092-555-2590 E-mail. cocorofullfull@cocofull2014.jp URL. http://cocofull-fukuoka.com 連絡担当者:下釜

メニュー概要

対象	高齢者
人数	10～30人程度(要相談)
時間	60～90分(休憩含む)×希望の回数
準備	運動できる広さの会場、イス(できるだけ)
費用	1回8,000円～(要相談) (人数・回数によって異なる場合あり)
実績	春日市などの公民館やコミュニティセンターにて実施。福岡市内の高齢者施設にて実施。

がんサーギフト出前講座(がんからの贈り物)

ねらい

がんに関する知識を広く一般に普及啓発し、がんによる死亡者を1人でも少なくする

今この時を、限られた命を、自分や大切な人の「生き方」について見つめ直します。医療者によるがんに関する知識講座を実施します。また、がんの経験者が自分の経験を話すことで、「がんは早期発見出来れば、怖い病気ではない」ということや「命の大切さ」、「早期発見・予防の大切さ」を伝え

ます。地域一丸となって社会に訴え、一緒に歩いて生(行)きましょう。



団体紹介

★ NPO法人がんサーサポート

設立年	2014年法人格取得(2008年より活動)
住所	福岡市東区三苫1-16-15-101
連絡先	tel. 090-4156-8686 E-mail. cansupo@psc.bbq.jp URL. http://cansupo.jimdo.com/ 連絡担当者:宮部

メニュー概要

対象	小学生～高齢者
人数	200名ぐらいまで
時間	90～120分
準備	プロジェクター(可能であれば)、机、イス
費用	1講座 10,000円～(ご相談に応じます)
実績	福岡県内の小学校、中学校や高校、大学、企業などで定期実施。

相続 ちょっといひ話 (～終活は家族のために～)

ねらい セミナーを通じて、
相続に関する疑問や不安を解消する。

高齢社会に突入し相続も相続相談も増加しています。悔いのない相続を行っていただくためにも、陥りやすい問題に気づいていただき適切な相談先を選んでいただくお手伝いをします。



団体紹介

✦ 相続マインズ福岡

設立年	2013年
住所	福岡市東区箱崎3-7-6(大洋不動産内)
連絡先	tel. 092-641-6200 E-mail. yuko@taiyo-f.jp URL. http://www.minds-fukuoka.com 連絡担当者:小峰

メニュー概要

対象	より良い相続をしたい・させたいとお考えの40代以上の方
人数	5名以上
時間	90分
準備	プロジェクター、ホワイトボード
費用	1回8,000円
実績	苅岐南公民館にてミニセミナーを実施

地域防災力向上プログラム

ねらい 地域防災の基本「自助」「共助」について具体的事例をもとに学び、
地域に密着した啓蒙活動を行い地域防災力を向上する。

【主な防災講座メニュー】

- ①DIG(災害図上訓練):自分達が住んでいる町の地図に、町の特徴や欠点を洗い出して災害への備えを考えていきます。
- ②HUG(避難所運営ゲーム):避難所で起こるさまざまな事象に対し対応を考えるシュミレーションゲームです。
- ③非常持ち出し品ゲーム:具体的に非常

持ち出し品を選んで、それが本当に必要なものかどうかを検証します。



団体紹介

✦ 博多あん・あんリーダー会

設立年	2006年
住所	福岡市博多区麦野5丁目22-6-505
連絡先	tel. 090-3074-5090 E-mail. hiraymi@jcom.home.ne.jp 連絡担当者:平山

メニュー概要

対象	子ども～高齢者(自治会、自主防災会も可)
人数	座学:10人～ ワークショップ:7人～(調整可能)
時間	30～120分(調整可能)
準備	プロジェクター、スクリーン、 プログラムによっては地図
費用	要相談(プログラムによる)
実績	福岡市出前講座(3年間平均実績)53回、福岡市地域活動アドバイザー(H26年度)15回

防災・減災のワークショップ (～入門編～)

ねらい 参加者自身の防災対策を振り返るワークショップやDIG(災害図上訓練)を通して、身近な防災・減災意識への向上に繋げる。

自分自身、家族の日常生活や、自宅に潜んでいる危険性、地域の特徴など、身の回りを知るところから始め、被災した場合を想定し、72時間以内に起こるであろう出来事を具体的にイメージします。その出来事への対応方法を考えながら、疑問や困難も見つけていくワークショップです。DIGは

参加者自身の住む地域の地図を用いて、その地域で大きな災害が発生する事態を想定し、危険や対策を地図上に書き込んでいく訓練を行います。



団体紹介

✦ NPO法人福岡被災地前進支援

設立年	2011年設立、2012年法人格取得
住所	福岡市城南区堤1-10-30-201
連絡先	tel. 080-2795-1802 E-mail. zenshinshien@yahoo.co.jp URL. http://zenshinshien.jp/ 連絡担当者:大神・飯田

メニュー概要

対象	小中学生～高齢者
人数	10～20名
時間	2～3時間×2回
準備	プロジェクター、防災マップ、マジック
費用	1回5,000～8,000円 (テキスト代別途ひとり500円程度必要)
実績	「わが家の災害対応ワークショップ」を一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンターと共催実施。

「遊びと学びのコミュニティスクール」出前講座

ねらい

親子コミュニケーションの大事さや子どもの成長発達の課題を学び、バランスのとれた発達と人格形成を目指す。

NPO法人子ども文化コミュニティで実施している「遊びと学びのコミュニティスクール」出前講座を行います。
①親子いっしょにアート作品を作って、参加者みんなで共有して遊びます。
②からだを使った親子遊びや絵本の読み聞かせ、ミニ講座なども入れながら参加者同士で交流します。

乳幼児、幼児、小学生など、子どもの成長発達に沿ったプログラムで行います。



団体紹介

★ 特定非営利活動法人子ども文化コミュニティ

設立年	2003年
住所	福岡市南区塩原3-22-1-201
連絡先	tel. 092-552-1540 E-mail. info@kodomo-abc.org URL. http://www.kodomo-abc.org 連絡担当者: 白石

メニュー概要

対象	0才からの親子(年齢別に区切って実施も可能)
人数	10組～
時間	1時間半～2時間
準備	なし
費用	講師派遣謝礼20,000円(材料代別)※内容による
実績	板付北公民館で開催/おいでよ!絵本ミュージアム、大牟田市ともだちや絵本ギャラリー、はじめての芸術との出会い事業、子どもがつくるまちミニふくおか、キッズレーザープログラムなど

パパスクール

ねらい

男性の家事・育児・地域参画を促す

楽しんで、家事・育児を積極的に行う「イクメン」、地域活動を行う「イクメン」、孫育てを行う「イクジイ」の養成講座を行います。絵本の読み聞かせ、父親のタイムマネジメント、子どもの遊び方、家事のテクニック、夫婦コミュニケーション、地域コミュニティの作り方、地域で使えるワーク

ショップなどについて学ぶ講座です。



団体紹介

★ 特定非営利活動法人FJQ (ファザーリング・ジャパン九州)

設立年	2010年設立、2012年NPO法人格取得
住所	福岡市博多区住吉4-1-5福岡GOAビル901
連絡先	tel. 090-9168-6376 E-mail. morishima@fjq.jp URL. http://fjq.jp/ 連絡担当者: 森島

メニュー概要

対象	小さい子どもがいるパパママやその両親(メインはパパ)
人数	何人でも
時間	1時間×1～6回※ご相談下さい
準備	プロジェクター、ワークショップの道具(模造紙とペンなど)
費用	1回20,000円(交通費別途)※ご相談下さい
実績	福岡県パパスクール全10回×4地域(合計40回)、福津市パパスクール全4回、他単発講座多数

「おやじのチカラ教室」(学校/地域の共働型プロジェクト)

ねらい

子どもたちに実社会での「シゴト」がどんなものか感じてもらうことで、自らの将来に向けての「やる気」や「夢」を引き出す。

地域と小学校、PTAとの共働型プロジェクトです。地域のお父さんたちを特別講師として、働き方や「シゴト」のやりがい、大変さなどについて語ってもらう教室です。コーディネーター役は地域の方や学校の先生が担います。基本的なプログラムとして、1時間目はお父さんたちの「シゴト」の話を聞き、新

聞記者の目線でお父さん講師に質問を投げかけてもらいます。2時間目はその情報をもとに「シゴト新聞(仮)」を作成。3時間目はお父さん講師の日常の活躍を聞いての感想や、将来の自分の挑戦についてまとめます。



団体紹介

★ NPO法人次世代のチカラFUKUOKA

設立年	2013年
住所	福岡市中央区大名2-1-35-3F
連絡先	tel. 092-722-2588 連絡担当者: 新村 E-mail. fukuoka@jisedainochikara.jp URL. http://jisedainochikara.jp/

メニュー概要

対象	【参加対象】小学校5・6年生の児童 【申込対象】地域団体、小学校またはPTAなど
人数	1クラスの児童数
時間	基本的には3時間(学校の授業時間3コマ分) ※メニューは応用可能です。ご相談ください
準備	お父さん講師の選定については、地域の方々の協力を仰ぎます。
費用	なし
実績	「小学生 次世代のチカラ教室」を福岡市男女共同参画推進センターで実施(参加者150名)

今どき子育て世代の生き方とパートナーシップ

ねらい 地域ボランティアの中老年の方が、今どき世代を理解し、サポートの一助とする。

女性の社会化が進む中、育児期女性の生き方も変化を見せています。

育児期女性の社会復帰支援をしてきた立場から、子育て世代を取巻く「働く」現状を説明し、女性がより広く活躍するための大切な基盤となる今時のパートナーシップについても解説します。



団体紹介

✦ NPO法人ママワーク研究所

設立年	2012年
住所	福岡市中央区西公園1-9
連絡先	tel. 080-3950-7270 E-mail. info@mamawork.net URL. http://www.mamawork.net/ 連絡担当者: 中山

メニュー概要

対象	「若い育児期世代」をサポートしたいと願う方々。
人数	20名以上
時間	1時間30分(一回完結)
準備	プロジェクター、スクリーン
費用	10,000円 + 交通費(応相談)
実績	おごり女性協議会にて開催。 30名程度の参加。

家庭マネジメント

ねらい 家庭と仕事とのバランスのために、タイムマネジメントや家族の理解を得る方法を学ぶ。

夫の理解と協力を得るための工夫や、タイムマネジメント、サポーターの作り方等の家庭マネジメントについての講座です。また、家庭以外の活躍する女性となるための心構えや効率性等をシェアする講座もあります。



団体紹介

✦ NPO法人ママワーク研究所

設立年	2012年
住所	福岡市中央区西公園1-9
連絡先	tel. 080-3950-7270 E-mail. info@mamawork.net URL. http://www.mamawork.net/ 連絡担当者: 中山

メニュー概要

対象	家庭を明るくしたい女性
人数	10~20名
時間	2時間×1回
準備	プロジェクター、スクリーン
費用	10,000円 + 交通費(応相談)
実績	企画部門女性社員マーケティング研修(JIMOS・福岡市)、主婦チーム立ち上げ&マネジメント研修(パナソニックリビングショールーム福岡)

カメラ講座

ねらい 一眼レフ、またはコンパクトカメラの基本的な使い方を学び、カメラレンズを通して住んでいる地域の再発見をする。

初心者一眼レフ講座の場合、カメラを買ってはみたものの買ったままの設定で使っているという方に、撮影のイロハ、知っておいた方がよい知識などをお伝えしつつ、実践や質問を交えて楽しみながら、レベルアップできるような内容です。



団体紹介

✦ NPO法人ママワーク研究所

設立年	2012年
住所	福岡市中央区西公園1-9
連絡先	tel. 080-3950-7270 E-mail. info@mamawork.net URL. http://www.mamawork.net/ 連絡担当者: 中山

メニュー概要

対象	パパママ、イクジイ・イクバア向け(カメラ撮影をもっと深めて生活に活かしたい方)
人数	10名以上
時間	一眼レフの場合1.5時間×3回(宿題2回分)
準備	カメラ(各人所有の)、筆記用具
費用	10,000円 + 交通費(応相談)
実績	病院や生涯支援センターなどでの講座。 その他、アトリエでも不定期開催

地域デビュー！しあわせな地域にはなにがある？

ねらい 地域デビューを勧めたいパパ・ママ世代や男女共同参画の分野、現役引退した高齢者に向けての地域デビューを推進する。

「地域デビュー」が、自分にどんな見返りがあるのか、統計データを活用して紹介。地域デビューへ踏み出すモチベーションを提供します。

全世界の統計データ紹介や福岡における地域活動による効果の事例紹介などの話題提供を行い、参加者の動機・価値観・活動の内面を共有しあう

ことで、お互いを認め合い地域活動への関心度向上や、モチベーション向上を図るワークショップおよびワールドカフェを行います。



団体紹介

福岡テンジン大学

設立年 2010年

住所 福岡市中央区薬院1-6-5-603

連絡先 tel. 090-7382-3325 連絡担当者: 岩永
E-mail. iwanaga@tenjin-univ.net
URL. http://tenjin-univ.net/

メニュー概要

対象	地域活動を推進したい団体や自治会、男女共同参画メンバーなど
人数	20~50人
時間	120分/1回
準備	プロジェクター・スクリーン・模造紙などの文具(参加者人数分)
費用	講師代として25,000円/1回 ※打ち合わせ1回含む
実績	菅岡校区、春吉校区などで男女共同参画の研修(「みんなで参画ウィーク」)を実施

みんなの会議講座

ねらい 組織・職場の会議や話し合いを改善するノウハウやマインドを育てる。

会議の進行(ファシリテーション)や、板書(ファシリテーショングラフィック)について学ぶ講座、ミニ会議実習など実践的な内容で行います。

【主なメニュー】※下記以外はご相談ください。

<初級編>

①ファシリテーション基礎、②ファシグラ千本ノック、③ファシグラの場数

を踏む、④会議の段取り上手になる

<中級編>

⑤場を読むトレーニング、⑥困った会議をよくしたい



団体紹介

特定非営利活動法人グリーンシティ福岡

設立年 2003年

住所 福岡市中央区薬院4-5-2 ARKヴィラ薬院202

連絡先 tel. 092-215-3913 連絡担当者: 志賀
E-mail. info@greencity-f.org
URL. http://www.greencity-f.org

メニュー概要

対象	地域活動や子育て、環境保全など非営利の活動に取り組む人
人数	初級編30人、中級編20人 ※10人以上に対応
時間	1回あたり3時間
準備	壁に模造紙が貼れる部屋(10人なら60㎡程度~/30人なら120㎡程度~/、申し込み受付窓口)
費用	初級編: 3,500円、中級編: 5,000円 ※参加者1人1回あたりの参加費として
実績	「ファシリテーショングラフィック研修」(福岡市)、「チームビルディング研修」(北九州市)

「おいしい革命」(食育)

ねらい 「楽しい」、「おいしい」という意識とともに、食の基本を学び合う。

食材を選び、買い、つくり、食べるといった毎日のことを「ちゃんと」することで、私たち自身の心と体は変わっていきます。自分が変わり、くらしが変わり、誰もが元気で豊かになっていくプログラムです。

①講演会(「食生活を整える」、「病気にならない食べ方」、「安全な食材の選び方」など)。

②イベント(「親子で楽しむ食」、「炊いて食べよう! はがまでごはん」「おいしい農園体験」など)



団体紹介

特定非営利活動法人食育推進ネットワーク福岡

設立年 2009年

住所 福岡市博多区奈良屋町2-16

連絡先 tel. 092-292-3306
E-mail. info@shokuiku-fukuoka.jp
URL. http://www.shokuiku-fukuoka.jp/
連絡担当者: 五十嵐(セミナー・講演会)、雪田(イベント)

メニュー概要

対象	幼児~大人
人数	ワークショップ形式: 講師一人につき5~15人 講演形式・イベント: 会場の規模次第
時間	まずはご相談ください。
準備	ホワイトボード、プロジェクター、マイクなど
費用	講師一人につき: 1回5,000円~、交通費(他要相談)
実績	福岡教育大学付属福岡小学校にて食育の授業、海の中道海浜公園にて「食育祭inおやこフェスタ」など多数

共働のトビラ

～地域とNPOでひらいてみる、新しい可能性～

[発行] 福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」

〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-46 福岡市立青年センター5F

[TEL]092-724-4801 [FAX]092-724-4901 [Mail]info@fnvc.jp [HP]http://www.fnvc.jp